

3つの目標に向かって心一つに！ 令和6年仕事始め式



大津中央支所 古澤将充さん
3つの目標・職員行動基準10カ条唱和

令和6年 3つの目標

- 一、地域とともに人が育つJA菊池づくり
- 二、自己改革への挑戦
- 三、めざそう自律創造型職員



東組合長訓示

仕事始め式を1月6日、常勤役員、担当理事、代表職員約200人が出席してパシオンで行いました。大津中央支所の古澤将充職員が令和6年の目標を述べ、出席者全員で職員行動基準10カ条を唱和。東哲哉組合長が「自然災害や世界情勢等で農業情勢も厳しい中ではあるが、今こそ相互扶助の精神で前進しよう。『粒々辛苦(りゅうりゅうしんく)』という言葉があります。こつこつと小さな努力を積み重ね、先人達によって築き上げられたJA菊池を、役職員が一つとなり更に成長させていこう」と年頭訓示を述べました。また、二十歳を迎えた職員3人が紹介され、東組合長が記念品の紅白梅苗を手渡し、激励。牛乳で乾杯し、新年の業務をスタートしました。

※粒々辛苦:米の一粒一粒が、農民の苦勞の結晶であるということから、こつこつ努力して物事を成し遂げるということ

※相互扶助:「相互」はお互いという意味。「扶」も「助」もたすけるという意味で、「扶助」となると力を添えてたすけるということ



二十歳職員紹介
左から、野口彩華さん、富田大輝さん、岩城陽星さん

今こそ相互扶助の精神で前進してまいりましょう

JA綱領

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
2. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
3. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
4. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
5. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

◆「JA」とは、農業協同組合(農協)の英語名称「Japan Agricultural Cooperatives」の頭文字をとったものです。相互扶助の精神のもとに農家の農業経営や生活を守り高め、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合です。

◆JAグループは、協同組合としての特性を活かしつつ、自らの社会的役割を発揮するため、(1)消費者に「信頼」される安全・安心な国産農産物の提供に努めること、(2)経営の「改革」を実践すること、(3)地域社会に「貢献」すること、を3つの基本姿勢に掲げています。